

あんなに
おっぱい
が濡れる
のは
初めて



DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

Presented by **ぶーち**

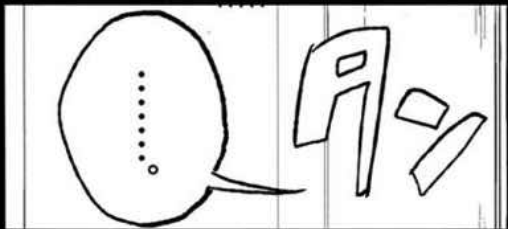


だから
寝ないって

おやすみ
ヴェクトル



ゆーりり♡
一緒に寝よう♡



早く眠りたいから
邪魔しないでね



はあ...

ヴェクトルは度々「一緒に寝よう」と誘っている。

そんなこと、
聞く意味なんかないのに。

——だって



ゆーりい〜！

なぜいつも断る!?
勇利はそんなに俺と
寝るのがイヤなの？

なんで？

無理やり入ってこようと
しないでよ?!
そんな聞き方しても
ダメだつてば

おやすみ
ヴェクトル!!





ぞろぞろ

あつ



すす
すす

かい
でる

勇利……

僕の部屋に忍び込んで
身体を触りにくるから……



ぞろ
ぞろ

か
ら

か
い
で
る

か
い
で
る

耳……
ダメ……



ぞろ

ぞろ



すす

……

はじめは気がつかなかった。

ある日の朝起きると

…胸やお尻の穴が疼いていて

違和感を確かめようと
手を伸ばしたんだけど

触ってみると
すごく気持ちが良いと

訳もわからないまま
お尻で自慰してしまっただ

寝ているふりをし続けた…

動揺して声が出そうになっただけ…
異常なまでに感じやすくなっていたのは、
ウィクトルが寝ている僕の身体を
弄っていたからだった。

嫌な気持ちはしなかったし
正直もてなすほどは
思っていないよ……

でもそれから数日が経った夜、
ウィクトルが部屋に
忍び込んでいることに気がついて…

勇利…



いまでは身体を弄られた日の朝は
自慰することが日課になっている

次第に挿入する指の数も
増えていって……

とっとうお尻の穴を弄らないと
いけない身体になってしまった……





可愛い勇利…
眠ってるのに乳首も
ジュニアもこんなに
固くなってる…♡

気持ち良いんだね



うっ
ウイクトル……♡

気持ちいいや

声漏れそう

それにさっきから
痛いんですけど……

…ウイクトルも興奮
興奮してるんだ……



回の中熱くしてぬるぬるして...
これだため...

うあつ♡キスされながら
アソコ擦りついている...



勇利っ

宇ス...

いきなり舌
入れられてる...



こんなのでしょ...

ウイグル♡

イク...

イク...

くっ...

♡



ああ……♡
憧れのオシロイ
イカに抱た……♡

身体中が痺れてる……
気持ち良すぎて……♡

おが……♡

……♡



勇利、
起きてるでしょ



あ…!

あ…!

うらぶらぶらウイクトルっ…
お尻に挿入れる気っ?

しめ♡熱…っ

先が
挿入ってきた…



だって勇利のアナル
なにもしなくても
こんなに軟らかくて
トロトロになってるから…♡



…えっ?!

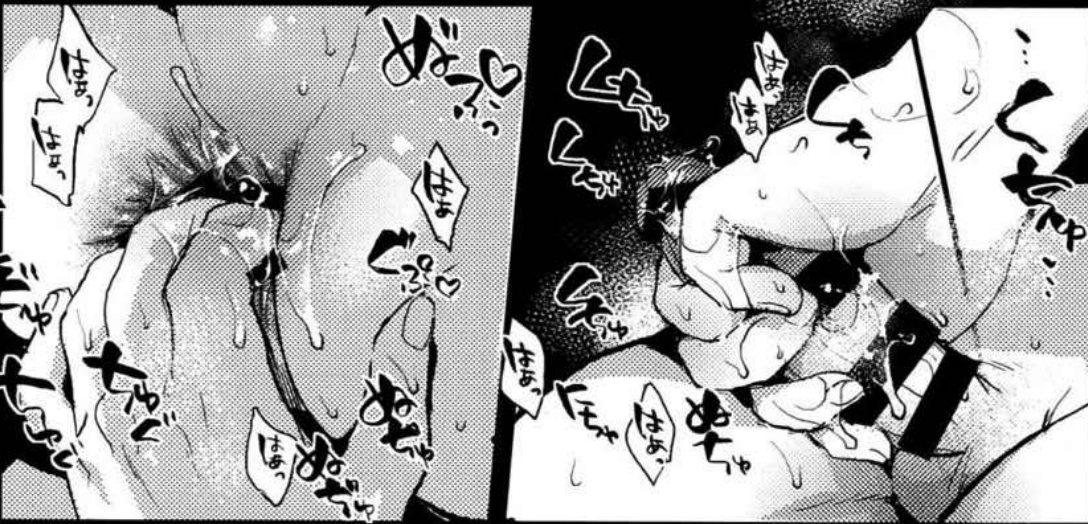
ウイクトル
いつから

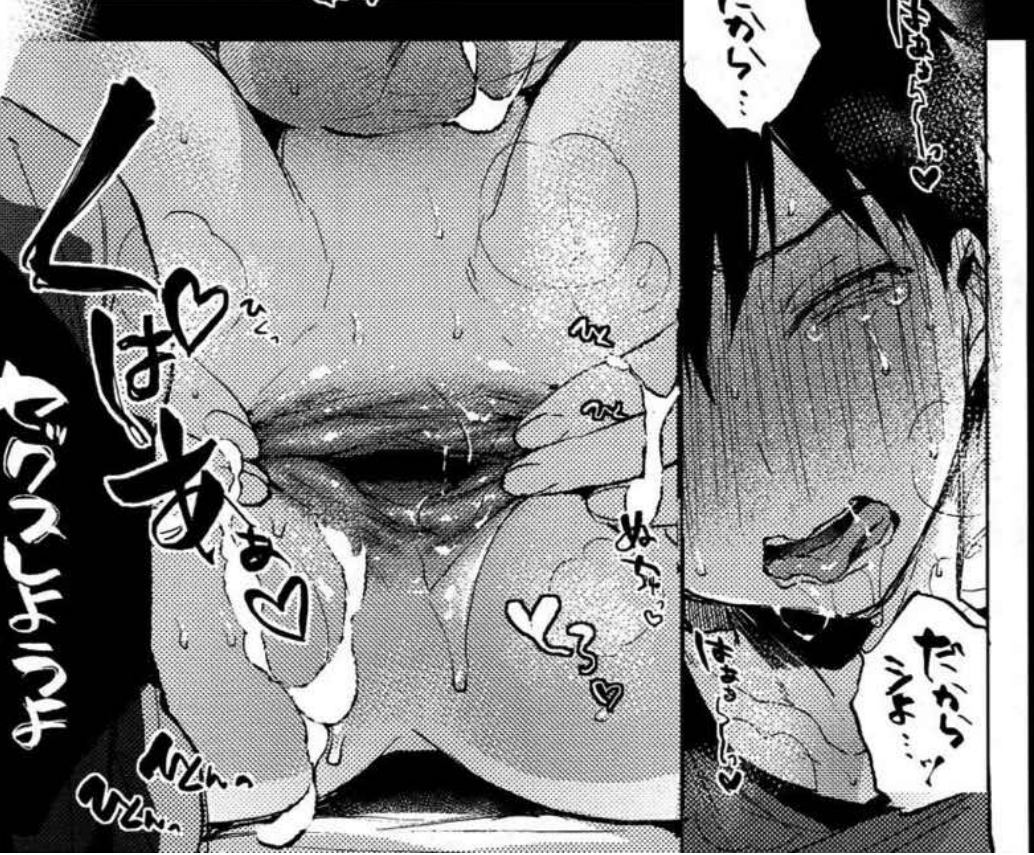
以前から
気づいてたよ

勇利には本当に
驚かされるよ

俺に寝込みを襲われて
されるがままになるどころか
自分でもお尻を
弄っていたなんてね……

そういうの
大好きだよ♡







もちろんだよ勇利！
俺のディック…根本まで
挿入れてあげる

ああ…！

ヴィクトルの拳

本音

挿入ってくる

ああああ

じゅん

んんんん



勇利ッ



これが本物の……ッ

ヴェクトルの……ッ

潰れろッ

自分で届かない
いちばん気持ちいい
ところ……ッ
押し潰される……ッ



勇利の中……ッ
おハゲおセン
Vno

おハゲおセン
おハゲおセン

なぜッ?

おハゲおセン……ッ
おハゲおセン……ッ
おハゲおセン……ッ



勇利のジュニア♡
奥まで挿入するたびに
こんなにやだれを垂らして
悦んでいるのに♡

本当にっっっ♡
待ってっっっの?♡

ジュニア...
奥まで挿入...
やだれ...
ジュニア...
奥まで挿入...
やだれ...

奥まで挿入...
ジュニア...
奥まで挿入...
ジュニア...

奥まで挿入...
ジュニア...
奥まで挿入...
ジュニア...

奥まで挿入...
ジュニア...
奥まで挿入...
ジュニア...





みんなの
妊娠する♡♡

うさまだ
はてる...

本当にいちばん最奥に
射精されてる...♡

あ...あ...♡
出てる♡



その日から僕たちの
秘密の関係は毎日続いた

最近には家に帰るまでが
待ちきれなくて
トイレや……リンクや……
外でも……

ユリオたちに
バレないように
気をつけないと……♡



ハハハハ



Victor x Yuri

YURI!!! on I♡E Fan book

Presented by ぷーち